

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~4日	2月 ~11日	2月 ~18日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	5	8 (9)	5
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	13	17 (18)	9
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1 (3)	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	2	1 (2)	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	2	0 (1)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	1	0 (1)	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	6	7	4

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第7週(2月12日~2月18日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9			3		1	1	4
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					3		
四類	0	発生なし	0							
五類	12	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1							1
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1							1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		播種性クリプトコックス症	1			1				
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	7			1	1	4		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、鞆野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり29.91人の報告があり、多い状況が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が52件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり7.17人の報告があり、2週連続で減少しました。引き続き、手洗い、換気、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。また、体調がすぐれないときは、周囲にも配慮して休養をとりましょう。

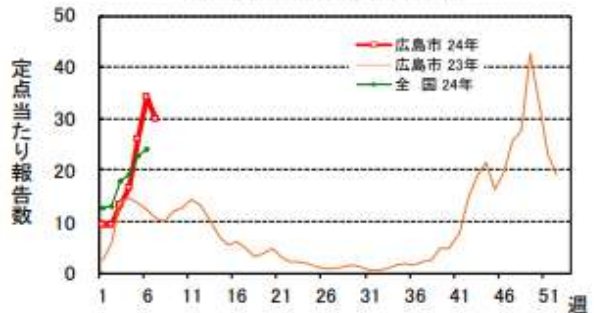
3 感染性胃腸炎

定点当たり8.00人の報告があり、多い状況が続いています。また、第7週までに高齢者関係施設等で集団発生が4件報告されています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.14人の報告があり、多い状況が続いています。咳エチケットの励行や手洗いなどの感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	横ばい	
インフル	インフルエンザ	1047	29.91	6.35	◇	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.02		↑	↑	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	251	7.17		◇		流行性耳下腺炎	-	-	-		↓	↓	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.05	0.23	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		↔	↔	
	咽頭結膜熱	30	1.36	0.21	◇		流行性角結膜炎	11	1.38	0.20		↔	↔	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	3.14	1.08	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03		↔	↔	
	感染性胃腸炎	176	8.00	5.35	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-		↔	↔	
	水痘	3	0.14	0.12	◇		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09		↔	↔	
	手足口病	14	0.64	0.10	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		↔	↔	
	伝染性紅斑	-	-	0.15	◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.03		↔	↔	
	突発性発しん	3	0.14	0.20	◇									

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	7	80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	3	5	10歳未満・O26・2人、10歳代・O26・1人
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	40歳代
5	梅毒	4	12	20歳代・2人、30歳代・1人、50歳代・1人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	50歳代